

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和3年3月1日)

- 1 令和2年度とっとり若者広聴レンジャー事業の実施結果について
【県民参画協働課】・・・ 2ページ
- 2 鳥取県×日本財団共同プロジェクトの取組状況（令和2年度）について
【共生社会プロジェクト推進室】・・・ 3ページ
- 3 第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会（フィギュア）における鳥取県選手団の結果について
【スポーツ課】・・・ 5ページ
- 4 文化財の県指定について
【文化財課】・・・ 6ページ
- 5 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【文化政策課】・・・ 12ページ

地域づくり推進部

令和2年度とっとり若者広聴レンジャー事業の実施結果について

令和3年3月1日
県民参画協働課

多様化する県民からの意見を県政に反映させるため、「とっとり若者広聴レンジャー」に任命した高校生の2グループ（11名）が県民から様々な意見を聴き取ってとりまとめた地域の課題解決策の報告を受けましたので、その概要を報告します。

1 事業概要

今年度は事業が始まって以来、初めて高校生がレンジャーとして活動しました。（事業開始：平成30年度）グループごとに決めたテーマについて、コロナ禍の中でも工夫しながらヒアリングやアンケート等を実施。これらを通じて得た県民の声をもとに若者視点で課題を整理し、提案をまとめていただきました。

(1) 若者広聴レンジャーの概要

グループ名	メンバー	取組テーマ・主な広聴活動実績
やずレスキュー隊	八頭高等学校の生徒 6名	若年層の人口流出を食い止めるにはどうすればよいか ・県・鳥取市・八頭町・隼Lab.などへ、若者層への定住促進対策や就職先確保、人口増に向けた戦略などをヒアリング ・県内7校の高校3年生へ、県内定住、Uターンに関する意識についてアンケート調査 など
ちやかいぶらざあず	鳥取城北高校の生徒 5名	介護士の人手不足と大学生の貧困問題の解決について ・福祉施設へ介護人材不足や学生ボランティアについてヒアリング ・全国の介護職へ介護士の人手不足に関しSNSでアンケート ・環境大学生へ生活費の状況等についてアンケート調査 など

(2) 活動の経過

- ・7月28日 公募に応じた高校生の2グループを若者広聴レンジャーに任命
- ・8～1月 広聴活動、提案の検討
- ・10月9日 広聴レンジャー第1回会議（テーマ関係課との意見交換等）
- ・12月22日、1月21日 広聴レンジャー第2回会議（同上）
* 第2回会議は、オンラインにより各校ごとに開催した。
- ・2月15日 提案報告会（オンラインにより統轄監への報告を行った。）



<2/15 統轄監への提案報告会>

2 提案の概要

グループ名	提案の概要
やずレスキュー隊	「若年層の人口流出を食い止めるにはどうすればよいか」 ①進学先関係：即戦力を育成する教育プログラム「キャップストーン※」の県内大学への導入、アプリ「とりふる」への進学情報追加等による県内進学先の魅力向上。 ②雇用確保：「とりふる」の機能充実、県内でのリモートワーク・サテライトオフィス・ワーケーションによる雇用創出・移住促進。 ③まちづくり：健康・文化等ここにしかない魅力を持つ拠点をシャトルバスでつなぐこと等により、環境に配慮した住みやすいまちづくりを進める。 ※キャップストーン：大学の学修の総仕上げとして、地域の企業や役所と連携して課題解決等に取り組み即戦力を育成する実践的教育プログラム。1990年代に欧米で始まり、2000年代には京都府立大などが取り入れている。
ちやかいぶらざあず	「介護士の人手不足と大学生の貧困問題の解決について」 全国的な問題である介護士の人手不足や大学生の貧困問題について、オランダの介護施設「ヒューマニタス※」を参考に、介護施設で学生にボランティアとして働いてもらうかわりに、その学生へ住居等の提供を行う仕組みを導入した介護施設を県が主体となり管理・運営していくことで、介護士不足と学生の貧困問題の同時解決を目指す。 ※ヒューマニタス：オランダ・デーヴェンター市等にある民間老人ホームの取組で、大学生は月30時間、入居者と過ごす条件を満たせば、無料でホームに住むことができる。オランダにおける高齢者介護のコスト増加に伴い2016年に始まったNPO法人の取組であり、高齢者と学生の間に社会的相互作用を作り出すことを目的としている。

3 今後の予定

いただいた提案は、事業実施の参考にするほか、今後の予算要求等への反映を検討していく。

鳥取県×日本財団共同プロジェクトの取組状況（令和2年度）について

令和3年3月1日

県民参画協働課共生社会プロジェクト推進室

鳥取県と日本財団は平成27年度から協定を締結して、地方創生のモデルを創出するためプロジェクトを進めてきたところであり、本年度の取組状況は以下のとおりです。

今年度は取組期間の最終年度となっていました。新型コロナウイルス感染拡大の影響から新たな案件の形成が進められなかったことから、日本財団からの提案も受けて事業期間を1年間延長し、在宅看取りなど最期まで安心して暮らし続けられる地域づくりを新たなテーマに掲げ、今後の取組を進めることとなりました。

1 本年度の主なプロジェクトの取組状況

(1) 障がい者スポーツの拠点（鳥取県障がい者スポーツ協会／鳥取市） 日本財団支援額 291,950千円

布勢総合運動公園内に「鳥取ユニバーサルスポーツセンター ノバリア」を昨年7月開館した。

今後は、スポーツ教室・相談会を開催するとともに、障がい者スポーツへの理解を深め取組をサポートするガイド人材を育成する拠点として利用していく。

【施設概要】 ウッドデザイン賞2020 ソーシャルデザイン部門を受賞

- ・木造（一部鉄骨造）平屋建、延べ床面積：699.38m²
- ・スポーツ広場（330m²）、トレーニングルーム（60m²）、マルチルーム（60m²）、相談室等で構成

【利用状況（R3.1末現在）】

- ・開館9時30分～20時30分、毎週火曜及び年末年始休館。
- ・会館日数170日、利用件数461件、利用者数6,652人（障がい者3,359人、健常者3,293人）

(2) 東部圏域の難病児と家族の地域生活支援拠点（鳥取県看護協会／鳥取市）日本財団支援額 117,499千円

県西部の博愛こども発達・在宅支援クリニック（H31.4開所）に引き続き、医療的ケア児の支援を行う県東部の拠点として、昨年4月に「ナーシングデイ こすもす」を鳥取県立中央病院の近接地に開所し、通所型福祉サービスの提供と訪問看護を組み合わせた支援を実施。

在宅生活への移行や成長に伴う各ライフステージにおいて医療的ケア児や家族が地域の中で孤立せず、安心して暮らすことができる地域生活支援を担う看護職員等養成研修事業も併せて実施。

【施設概要】施設規模等：木造2階建て、約370m²

- ・児童発達支援：未就学児を対象に日常生活、集団生活等への適応訓練等を実施
- ・放課後等デイサービス：就学児を対象に生活能力向上、社会交流促進等の訓練を実施

【利用状況（R3.1末現在）】

- ・放課後等デイサービス利用者：延べ514名（R2.4～R3.1月）利用、人材育成研修：計8回開催。

(3) 日野郡3町ふるさと教育の推進（日野郡ふるさと教育推進協議会／日野町）日本財団支援額 6,460千円

進学とともに地域との関係が希薄となり、同級生などとのつながりも薄れがちとなる地域の高校生を対象に地域との結びつきを強め、大学等へ県外進学してもUターン就職したり将来の地域の担い手となる人材の確保につなげるため、日野郡3町が合同で学習支援と共に地域を題材とした学びを行う拠点となる「日野郡公設塾 まなびや縁側」を昨年4月に開設した。

【まなびや縁側の概要】場所：日野町山村開発センター内（日野町 根雨）

- ・利用者：7名（日野郡在住の高校生、日野高校の生徒（境港市、米子市、伯耆町等））
- ・講師：3名体制（地域おこし協力隊制度を活用）
- ・最近の活動テーマ：持続可能な農業を考える、日野高校ソフトテニス部の再興、ホトホトが地域社会に果たす役割を考える。防災ワークショップ、日野町議員との意見交換 等

(4) ケアする地域づくりセミナーの開催（鳥取市／12月15日）

日本財団及び笹川保健財団と連携し、24時間体制で在宅看護サービスを提供する岡山市や兵庫県豊岡市での先進事例を紹介するセミナーを開催。在宅で最期まで暮らすために必要な取組やサービスについて主に福祉の関係者が学ぶセミナーを開催した（参加者約130名）。

【当日の講演内容】

- ア 笹川保健財団 会長 喜多 悦子
- イ 同 上 地域保健事業部スタッフ 山崎 衣織
- ウ 訪問看護ステーション「晴」 代表 赤瀬 佳代
- エ (一社) ソーシャルデザインリガレッセ 代表 大槻 恭子

当日の資料及び講演内容はYouTube動画で公開 アドレス : <http://totnf.jp/report/2020122-2/>

(5) 共助交通構築マニュアル作成(共助交通を通じた地域人材育成の普及協議会) 日本財団支援額9,980千円

県内3地区(米子市永江、大山町逢坂、大山町大山)をモデル地区として選定し、県やアドバイザーによる伴走支援を通じて得られた経験・ノウハウを元に住民が共助交通を立ち上げるための手引きとなるマニュアルを作成し、県内市町村、各社会福祉協議会等へ配布した。

このマニュアルを利用して昨年7月には県内3圏域で地域住民、社会福祉協議会、自治体等の関係者を対象に「共助交通を通じた地域人材育成事業成果報告会」を開催すると共に、マニュアルをウェブサイトでも公開したところ、県内各市町村のほか、京阪神など県外からも問い合わせが寄せられた。

【地域の移動手段を守る取組の拡大】

県内各地で開催した研修会・報告会等により、参加した共通する問題意識をかかえている地域において、地域ごとの実情に応じた多様な移動手段確保の取組が進んでいる。

例) 鳥取市河原町国英地区、佐治町佐治地区、倉吉市小田東地区、智頭町、若桜町、琴浦町徳万地区等

2 今後の取組について

これまで地方創生のモデルとして取り組みを進めてきた買い物支援、移動支援、地域の活動拠点づくりなど「住み慣れた地域で暮らし続けられる地域」に向けた取組をさらに進め、地域住民と医療や看護、介護など福祉関係者等との連携により、本人が希望する在宅看取りを実現できるモデル構築を進めていきます。

また共同プロジェクトにより実現したこれまでの様々な取組は、財団からの支援をきっかけとして、さらなる取組の発展へとつながっているものもあることから、今後も情報収集を継続し、全国から関心を集められるものとなるよう、フォーラムの開催など情報発信の取組を進めていきます。

第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会（フィギュア）における 鳥取県選手団の結果について

令和3年3月1日
スポーツ課

第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会（フィギュア）（愛知県名古屋市）の本県選手団の結果について報告します。県勢少年女子としては14年ぶりの出場でした。

1 派遣概要

- 会 期 令和3年1月27日（水）から同月30日（土）まで（4日間）
- 会 場 日本ガイシアリーナアイスリンク（愛知県名古屋市）
- 派遣者数 7名
 - ・本部役員3名
 - ・監督1名
 - ・トレーナー1名
 - ・選手2名（少年女子）



左から永見選手、廣富選手

2 結果

○12位

種別	氏名 (所属)	出場者 数	競技成績			
			SP	FS	個人総合成績	都道府県別順位
少年 女子	ながみ ちよの (米子北斗高3年)	16県 32名	16位 (47.00点)	18位 (79.45点)	16位 (126.45点)	12位
	ひろとみ 廣富 さくら (米子北斗高2年)		29位 (34.26点)	—	29位 (34.26点)	

- ・SP：ショートプログラム、FS：フリースケーティング
- ・SPの上位24名が翌日のFSに出場する方式
- ・都道府県別順位は、出場者2名の総合成績合計による。

3 総合成績

競 技	男女総合成績				女子総合成績			
	得点			順位	得点			順位
	参加 得点	競技 得点	合計 得点		参加 得点	競技 得点	合計 得点	
スケート	10(10)	0(0)	10(10)	27位(33位)	10(10)	0(0)	10(10)	25位(25位)
アイスホッケー	10(10)	0(0)	10(10)	12位(12位)				
スキー	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止。							

（ ）内数字は昨年の成績

《参考》

- スキー競技（秋田県・2/18～21）については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止となった。スキー国体の中止は大雪の影響で実施できなかった第1回大会（1947年北海道・長野）以来74年ぶり2度目。
- スケート競技及びアイスホッケー競技については、新型コロナウイルス感染症への懸念から参加予定であった43都道府県のうち11県が出場を辞退した。
- 本国体を含め、男女総合成績の取扱いについては、現時点で不明。

文化財の県指定について

令和 3 年 3 月 1 日
文 化 財 課

令和 3 年 2 月 23 日（火）、鳥取県文化財保護審議会（会長：長谷川博史島根大学教育学部教授）は、下記の文化財を鳥取県保護文化財、鳥取県天然記念物に指定および追加指定するよう知事に答申しました。

記

文化財の名称	大原家文書（おおはらけもんじょ）
文化財の分野	鳥取県保護文化財（古文書）
所在地	智頭町
員数	18点
文化財の概要	智頭町の大原家に伝来した応永20年（1413）から文禄4年（1595）までの売買や贈与といった土地権益の移動に関する中世文書18点である。土地権益の移動は、中世から徐々に文書によって保証される段階へと変化していくが、史料が限られており、明らかでないところが多い。大原家文書は、この地域の土地権益の移動を示すものであり、県内の実態を知ることのできる史料として重要である。

文化財の名称	鉄造白山本地仏像（てつぞうはくさんほんじぶつぞう）【追加指定】
文化財の分野	鳥取県保護文化財（彫刻）
所在地	倉吉市（追加指定分）
員数	1（追加指定分）
文化財の概要	追加指定するものは、倉吉市にある吉祥院に伝わる鉄造阿弥陀如来立像である。元々は、白山本地仏として、南部町の豊寧寺（現在は地区が管理）に伝わった既指定の鉄造十一面観音立像、鉄造聖観音立像、附光背と一緒に伝来したと考えられる。ある時点で吉祥院へ伝わったが、その経緯についてはわかっていない。鉄製の仏像は、加工が難しく、錆が生じる等の理由から類例が少なく、本像はそうした数少ない作例の1つであるほか、その光背に元応2年（1320）の年号が記されており、制作年代の分かる基準作品として貴重である。

文化財の名称	大御堂廃寺出土遺物（おおみどうはいじしゅつどいぶつ）
文化財の分野	鳥取県保護文化財（考古資料）
所在地	倉吉市
員数	軒丸瓦21点ほか
文化財の概要	大御堂廃寺跡は、創建が7世紀中頃と推定される山陰地方最古級の寺院であり、先進的な仏教文化を備えた、この地域における中核寺院である。ここから出土した遺物には、畿内の寺院と遜色のない瓦や新羅製と推定される獣頭などの先進的なものや、祭祀具や生産に関連する道具といった当時の寺院活動の多様性を示すものが数多くあり、わが国の古代寺院史を知る上で貴重である。

文化財の名称	湯梨浜町のトウテイラン群落（ゆりはまちょうのとうていらんぐんらく）
文化財の分野	天然記念物
所在地	湯梨浜町
員数	面積10,904㎡
文化財の概要	トウテイランは、オオバコ科クワガタソウ属多年草であり、海岸の草地や松林の下に生える多年草の植物である。日本には21種が自生しており、その場所は京都府、鳥取県の日本海海岸、島根県隠岐と限られ県内での自生地は湯梨浜町のみとなっている希少な植物である。

【指定】鳥取県保護文化財

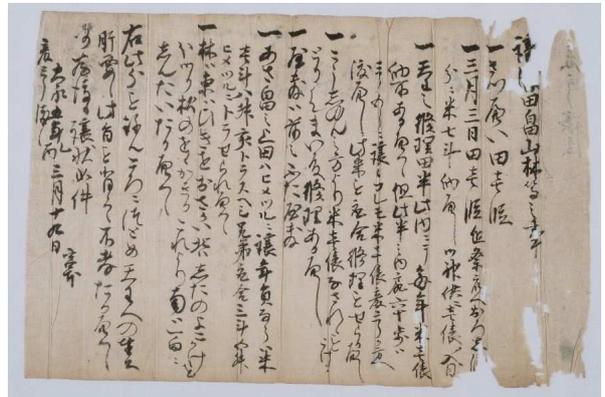
名称	所在地	員数	指定基準
おおはらけもんじよ 大原家文書	八頭郡 智頭町	18点	保護文化財 古文書の部 1 古文書類は、我が県の歴史上重要と認められるもの

< 指定理由 >

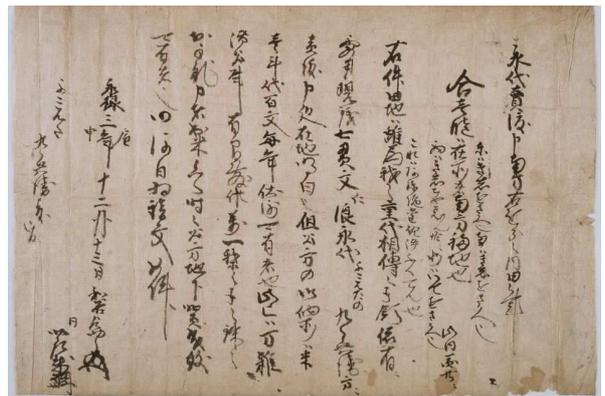
大原家文書は、智頭町波多のおおはら家に伝来した文書である。応永 20 年（1413）から文禄 4 年（1595）に至る 18 通の中世文書が残されており、いずれも平成 16 年（2004）10 月 1 日に智頭町保護文化財に指定されている。

大原家伝来中世文書は宮本氏が所持していた文書（13 点）、大原氏が所持していた文書（2 点）、「よこはた」氏の文書（2 点）など、複数の異なる系統の文書で構成されており、土地権益の売買もしくは譲渡などによって、最終的に大原氏が引き継いだものと想定されている。

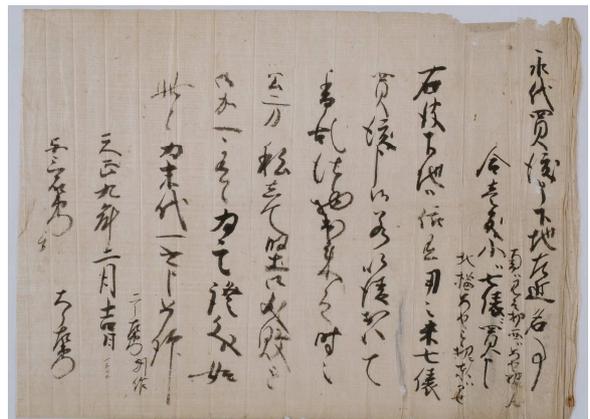
中世文書 18 点は、大半が売券であるが、いずれも土地権益の移動について記されたものである。土地権益の移動は、中世在地社会において、徐々に文書によって保証される段階へと移行しつつあったが、その過渡期の状況は史料が限られるため、明らかでないところが多い。大原家文書は、地域における在地の不動産物権の移動に関わる史料として希少な価値を有しており、とりわけ鳥取県域の中世土地権益の実態をうかがわせるものとして貴重である。



大永 5 年(1525) 3 月 19 日
宮本某田畠山林等譲状



永禄 3 年(1560) 12 月 13 日
和谷与四郎・同四郎左衛門連署田地売券



天正 9 年(1581) 2 月吉日
大郎左衛門下地売券案

【追加指定】鳥取県保護文化財

名称	所在地	員数	指定基準
鉄造白山本地仏像 鉄造阿弥陀如来立像	倉吉市（追加指定分）	1 軀	保護文化財 絵画、彫刻の部 1 各時代の遺品のうち制作優秀で我が県の文化史上貴重なもの
鉄造十一面観音立像 鉄造聖観音立像 附 光背	南部町（既指定分）	2 軀	2 我が県の絵画・彫刻史上特に意義のある資料となるもの

< 指定理由 >

既指定の鉄造十一面観音立像、鉄造聖観音立像、附光背は、南部町の豊寧寺に伝来したものであり（現在は、区有となっている。）、光背に元応2年（1320）の年紀と在地の有力者の名が確認できることから、昭和61年に保護文化財（歴史資料）として指定されている。

この度、追加指定された鉄造阿弥陀如来立像は、本来、既指定の鉄造十一面観音立像、鉄造聖観音立像、附光背とセットであったと考えられ、白山本地仏の三尊像であったと思われる。現在の所有は倉吉市にある宗教法人吉祥院であるが、その伝来については、資料が無くわかっていない。

白山信仰は、石川県と岐阜県、福井県にまたがる白山に関する山岳信仰である。既指定の白山本地仏である鉄造十一面観音立像、鉄造聖観音立像、附光背が伝来した豊寧寺周辺には、白山神社があるほか、白山権現の本地仏である平安時代（12世紀）の木造十一面観音坐像（南部町指定文化財）もあることから、この地域が古くから白山信仰が根付いていた場所であったと想定される。こうした流れの中で、本像は制作されたとみられ、この地域における白山信仰の広がりを知るための貴重な資料となる。

また、鉄製の仏像については、その加工の難しさ等から、全国的に類例が少なく、ここ西日本では発見例が限られている。こうした希少性や、光背に年紀が認められ、制作年代がある程度判断できることから、14世紀代の鉄仏の基準資料となり、重要である。



【追加資料】
阿弥陀如来立像



【既指定資料】
附光背



十一面観音立像



聖観音立像

【指定】鳥取県保護文化財

名称	所在地	員数	指定基準
大御堂廃寺跡出土遺物 <small>おおみどうはいじちよとしゆつどいぶつ</small>	倉吉市	軒丸瓦 2 1点ほか	保護文化財 考古資料の部 4 宮殿・官衙・寺院跡、墓、経塚等の出土品その他飛鳥・奈良時代以後の遺物で学術的価値の特に高いもの

< 指定理由 >

大御堂廃寺跡（倉吉市駄経寺町）は、鳥取県中部を流れる天神川とその支流小鴨川の合流点付近の沖積地に立地する、7世紀中頃創建の寺院跡である。その存在は、すでに江戸時代から知られており（『伯耆民談記』松岡布政 寛保2年（1742））、重要な遺跡と認識されてきた。当地に存在した工場閉鎖の後、平成6年（1994）から倉吉市教育委員会が敷地内の発掘調査を開始し、寺域や伽藍配置等が確認された。その成果を踏まえ、平成13年（2001）、国史跡に指定された。

出土遺物は、瓦、土器、銅製品、木製品、仏像、生産関連遺物等、数多くの種類の遺物が出土しており、その多様な寺院活動の様子を知ることが出来るほか、白鳳期の寺院では、畿内以外の地域で出土例の限られる蓮華文鬼瓦、正倉院に類する銅製匙、新羅製と推定される獣頭等が出土するなど、当時の先進的な道具を備えていたことがわかる。

こうしたことから、大御堂廃寺出土遺物は、当寺院が山陰地方における先進的な仏教文化を備えた中核寺院であるほか、多様な寺院活動が行われたことを知ることのできる重要な資料であるほか、わが国における古代の地方寺院史を語る上で欠かせない、学術的に意義の大きい資料群と評価することができる点で貴重である。



蓮華文鬼瓦（7世紀後半）



鬼面文鬼瓦（8世紀中頃）



塑像



銅製獣頭



銅製匙



三鈷杵鑄型

【指定】鳥取県天然記念物

名称	所在地	員数	指定基準
湯梨浜町のトウテイラン群落	湯梨浜町上橋津, 宇谷, 小浜	面積 約 10,904 m ²	史跡名勝天然記念物 天然記念物 2 植物 1 2 珍奇又は絶滅に瀕した植物 の自生地

< 指定理由 >

トウテイランは、オオバコ科クワガタソウ属の多年草で、海岸の草地や松林の下に生える。トウテイランを含むクワガタソウ属の植物はユーラシア大陸に広く分布し、300 種ほどが知られている。日本には 21 種が自生するとともに、春先の草地でよく目立つオオイヌノフグリなど 10 種ほどの外来種が定着している。

トウテイランは、京都府、鳥取県の日本海側の海岸と島根県隠岐にのみ自然分布する。これらの自生地は、互いに隔離分布しており、各自生地間には遺伝的な分化が見られることが指摘されており、自生個体群それぞれで遺伝的に異なっている可能性が高い。このため、各自生地自体が貴重な存在ということが出来る。

県内の状況については、湯梨浜町のみ分布し、その群落は小さく個体数も限られていることから、極めて希少であり、その自生地は大変貴重と言える。



トウテイラン
(湯梨浜町上橋津, 2019年9月6日)



公園で維持管理されているトウテイラン
(湯梨浜町橋津, 2019年9月6日)



宇谷の海岸砂丘斜面に咲くトウテイラン
(湯梨浜町宇谷, 2019年9月6日)



小浜のトウテイラン集団
(湯梨浜町小浜, 2019年9月6日)

県内	県指定文化財	314 (3)	国指定文化財	124
	保護文化財	162 (3)	国宝・重要文化財	57
	絵画	28	絵画	3
	古文書	18 (1)	古文書	0
	彫刻	43 (1) ※	彫刻	18
	工芸品	16	工芸品	5
	書跡	0	書跡	1
	考古資料	27 (1)	考古資料	12
	歴史資料	2	歴史資料	0
	建造物	24	建造物	18
	工芸・考古資料	4	工芸・考古資料	0
	彫刻・建造物	1	彫刻・建造物	0
	史跡	20	特別史跡・史跡	34
	名勝	11	名勝	4
	名勝・史跡	0	名勝・史跡	1
	名勝・天然記念物	0	名勝・天然記念物	1
	天然記念物	58 (1)	特別天然記念物・天然記念物	19
	有形民俗文化財	6	重要有形民俗文化財	1
	無形民俗文化財	45	重要無形民俗文化財	3
	無形文化財保持者・団体	12	重要無形文化財保持者・団体	1
	伝統的建造物群保存地区	1	重要伝統的建造物群保存地区	2
			重要文化的景観	1
	県選択	3	国選択	9
	記録作成等の措置を講ずべき 無形の民族文化財	3	記録作成等の措置を講ずべき 無形の民族文化財	9

- ・ () 内の数字は今回新規又は追加指定数です。
- ・ ※は追加指定(認定)のため、答申後の件数に変更はありません。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告の報告について

【新規分】

地域づくり推進部		摘要					
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
文化政策課	倉吉未来中心特定天井耐震対策工事 (建築)	倉吉市 駄経寺町	有限会社酒井建設 代表取締役 酒井 祐一	109,890,000円 (予定価格) 111,540,000円	令和2年10月29日 ～ 令和3年8月27日	令和2年10月29日	制限付一般競争入札 (2者)

【変更分】

地域づくり推進部		摘要					
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
文化政策課	とりぎん文化会館特定天井耐震対策工事 (建築・機械設備)	鳥取市 尚徳町	株式会社懸樋工務店 代表取締役 懸樋 義樹	(当初契約額) 267,300,000円 (第1回変更後契約額) 309,563,100円 (変更額) 42,263,100円 (第2回変更後契約額) 313,698,000円 (変更額) 4,134,900円	令和元年12月14日 ～ 令和2年9月30日 (変更後工期) 令和元年12月14日 ～ 令和2年12月25日 (指定部分 令和2年9月30日)	(当初契約年月日) 令和元年12月13日 (第1回変更契約年月日) 令和2年9月28日 (第2回変更契約年月日) 令和2年12月8日	(主な変更理由(第2回)) 防水工事において、漏水箇所が想定よりも多かつたため、箱構の設置範囲を広げたことによる工事費の増。